

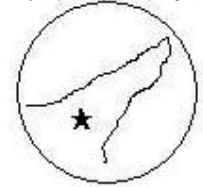
The Great Scene of Shiretoko

発行：網走南部森林管理署 ウトロ森林事務所

森林官・グリーンサポートスタッフ（GSS）

羅臼岳（岩尾別ルート）

（標準コースタイムで頂上往復9時間くらいかかります）



この季節となると、つゆや落ち葉で足元が大変滑りやすくなりますので注意が必要です。紅葉を楽しみながら自分のペースで登山をするように心掛けましょう！体力維持やストレス発散が期待できます。

先月は茶色く枯れた木が目立っていましたが、冷え込みが強くなった10月上旬より次第に色づき始めようやく紅葉が楽しめるようになりました。ハイマツの緑と紅や黄色く色づいた木々のコントラストが何とも言えませんね。

頂上は時折雪が降っているようで氷点下になる事もありますので冬山装備をお願いします。無理な登山は避けるようにしましょう！

～3つのお願い～

- ☆登山道にはトイレがありません。携帯トイレを持参してください。
- ☆植物を守るため、登山道以外の場所を歩かないでください。
- ☆登山道や植生の破壊を防ぐため、登山用ストックはゴムキャップをつけて下さい。



弥三吉水手前硫黄山方面（10月7日）

知床GSS便り

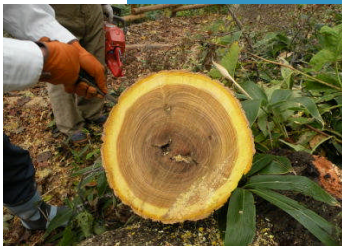
グリーンサポートスタッフ（GSS）は知床世界自然遺産地域及びその周辺を巡視している林野庁の職員です。

野営場で倒木処理

夕陽台にある国設知床野営場の遊歩道上にニレの大木が倒れており、10月12日に倒木処理を行いました。直径50cmはある大木でしたが根株の中は空洞で強風の影響もあり倒れたのでしょうか！



このニレが倒れる時に、キハダが損傷を受け処理のために伐倒すると、ご覧の通り樹皮の内側にある内皮が黄色です。キハダの名前の由来ですが、これを乾燥させたものは黄柏（おうぱく）と言われ、薬用や染料の材料として使われます。



シカ食害防止

羅臼岳登山道にあるイチイの木にシカ食害防止用のネットを張りました。これから長い冬を迎えると、食べ物が少なくなり、シカは木の樹皮を食べ始めるようになります。樹皮が食べられるとやがて木は枯れて、周辺に広がっていくので、登山道近くで確認出来る新しく食べ始められている木や破れているネットの補修作業を行っています。積雪で高いところも食べられる可能性もあるので、なるべく高く設置するようにしています。



簡易的な登山道整備

土嚢袋の設置・水切り・石積み・笹刈り払い・標柱取替

GSSは水の浸食や人が踏みつけることで生じた段差に土嚢袋を設置するなど、簡易的な登山道の整備を行っています。弥三吉水の浸食の激しい箇所では、これ以上側面の土砂が流出しないように石を積んで荒廃の抑制に取り組んでいます。また周囲の景観を損ねないように石も登山道に転がっているものや、土嚢袋の色にも配慮しています。

所々登山道上を横切るように土嚢袋を設置していますが、これは登山道上を流れる大量の水でも効率的に排水するために設置しているもので、邪魔だと思われる方もいるかも知れませんが、今後の継続的な登山道利用のためにご理解をお願いします。



今年度のGSS巡視活動も残すところ約2週間となりましたが、悔いの無いように巡視を行い、最後まで知床のホットな情報を引き続き発信していきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

お問い合わせ

網走南部森林管理署ウトロ森林事務所 斜里郡斜里町ウトロ東16 (TEL 0152-24-2144)